



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1
Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会
印刷：小野印刷

■ 第 206 号 ■

ご挨拶

浪岡ファミリー薬局 薬局長 高橋 和希

4月1日(水) ファルマ7店舗目となる、「浪岡ファミリー薬局」を浪岡ファミリークリニックの門前にオープンいたしました。

浪岡ファミリークリニックの標榜科は小児科内科、アレルギ科です。オープン初日からたくさんの方にご利用いただき、多忙ではありますが、小さなお子さんの笑顔や皆さんの「ありがとう」に癒されながら業務に励んでいます。

どなたでも安心して利用できるよう、「発熱感染専用窓口」も設置し、感染対策も万全です。絵本やおもちゃ、ガチャポンを設置したキッズスペースやお子様向けの商品も多数取り揃えていますので、薬ができるまでの間、お子さんが飽きずに過ごせるよう楽しい空間となっています。

調剤機器は最新の「自動水剤(シロップ)分注機」「自動散剤分包機」を備え、クリーンで安心安全な調剤が可能となっています。また、最新調剤機器の活用によって得られた時間を患者サービスに注いでいきたいと考えています。お子さんが薬をなかなか飲んでくれない、どうした

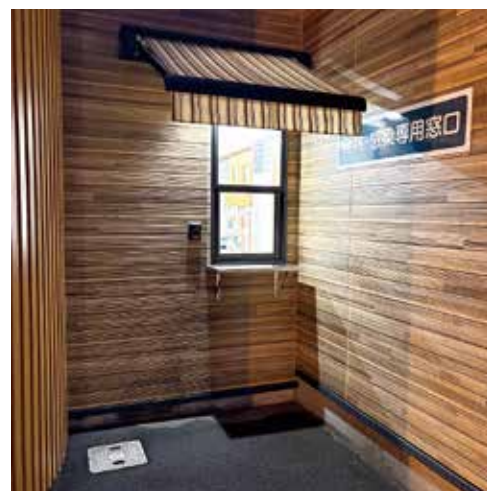
ら飲ませやすいかなどの悩みを親御さんと一緒に考えて、お子さんがすすんで飲んでくれるような工夫やアドバイスをしていけたらと考えています。半年以上前から準備をして参りまして、様々な困難もありましたが、なんとかオープンすることができました。たくさんの方々にご協力いただき感謝をしています。これからどうぞ宜しくお願いいたします。



浪岡エリアに配布したOPENチラシ



夜間は明かりがついてオシャレ



発熱窓口もしっかり完備



高橋薬局長



忙しい時間帯もチームで丁寧に



お子様連れでも安心の待合スペース



薬剤師も事務もフル稼働



柔らかな色合いの薬品棚



頼れる相棒 散薬分包機

あなたの身近に かけつけ薬局

入社式



ファルマ浪岡薬局の皆さんと

4月1日(水)ファルマ弘前薬局会議室にて入社式を行いました。今年度は薬剤師の木村太郎さんと村上叶さんの2名を正職員として迎えることができました。当日は浪岡ファーマリー薬局OPENのため、木村太郎さんは浪岡ファーマリー薬局からZOOMでの出席となりました。

会場では、崎野代表取締役から村上叶さんへ辞令が交付され、その後、村上叶さんから決意を込めた挨拶がありました。浪岡ファーマリー薬局の皆さんからの薬局紹介もあり、入社式は大いに盛り



笑顔で歓迎(弘前調剤センター)



新入職員の村上叶さん(真ん中)

り上がりました。入社式終了後は各職場を見学し、温かい歓迎を受けました。昼食後はオリエンテーションを行い、社史や民医連についてなど講義がありました。

新入職員アンケート

今年度入職された薬剤師2人に自己紹介も兼ねて、アンケートに答えてもらいました。質問はこちらの4問です。

- Q1 出身地や出身大学、趣味や特技なども含め、簡単に自己紹介をお願いします。
- Q2 薬剤師という職業を選んだのはなぜですか？
- Q3 ファルマに入社した動機は？
- Q4 ファルマのスタッフにひと言お願いします。

【村上 叶さん】

- Q1 今年、青森大学を卒業いたしました村上叶です。出身地は弘前市で趣味は、アニメ・マンガ・YouTube鑑賞で、最近はVTuberをよく見ます。特技は小学4年生から高校3年生まで続けていたバスケットボールです。よろしくお願いたします。
- Q2 高校生の進路を決める時期にやりたいことがまだ見つからない中、親に薬剤師はどうかと勧められ、理系の科目が得意だったので合っている職業だと思い選びました。
- Q3 実務実習の際、楽しく学ぶことができたこと、様々な疾患に関わることができること、ファルマの皆さんが優しくしてくださったので入社を決めました。
- Q4 まだ先のことですが、支援などで一緒にお仕事をする際にはたくさん話して仲良くしていただけたらうれしいです。よろしくお願いたします。

【木村 太郎さん】

- Q1 青森生まれ青森育ち、青森大学出身です。趣味は旅行と食べ歩き、特技はツムラの漢方を匂いである程度判別できることです。
- Q2 青森で生きていくには一番ベストだと思ったからです。
- Q3 様々な場所で活躍している薬剤師が多く、憧れたのが理由です。
- Q4 早く戦力になれるように頑張りますのでよろしくお願いたします。

3月16日からファルマ浪岡薬局で勤務させていただきます。以前は別の薬局に勤務していましたが、ファルマ浪岡薬局の方々の優しさにふれ、面接して



ファルマ浪岡薬局
なかむらしの
中村志乃

新入職員紹介

ただき、入社させていただくことになりました。和気あいあいとしているファルマ浪岡薬局の皆さんに支えられ日々勉強させていただいております。少しでも力になれるよう今後も頑張っていきたいと思っております。そして、患者様に寄り添う接客を心がけていきたいと思っております。いろいろ不慣れで、いろいろご迷惑をおかけするとは思いますが、よろしくお願いたします。

「あつという間だった」、率直にそう感じるほど皆様と楽しく過ごせた実習でした。はじめは緊張して服薬指導すら覚束ない様子でしたが、薬剤師の方々からたくさんのご指導やアドバイスをいただきながら何度も繰り返し、患者様と良好な関係を築けるほどに成長することができました。

とても有意義な時間だった実務実習

東北医科薬科大学 5年生 秋田谷 侑雅

実習初週から調剤のみならず、服薬指導や福祉施設訪問、地域ケア推進会議への参加など、非常に多くの体験をさせていただきました。その他にもクリーンスポーツ公開講座への参加や災害研修、学校薬剤師体験、問屋見学やファルマ弘前薬局での実習など、薬局の外の活動も多く、大変有意義な時間となりました。



笑顔で実習する秋田谷さん

ファルマの皆さんが温かく迎えてくださったおかげで、たくさんのお話を学びながら楽しく実習を終えることができました。11週間大変お世話になりました。ありがとうございます。

ファルマ花見の会

4月25日(土) 弘前公園
ピクニック広場でファルマ花見の会を開催いたしました。昨年は雷雨のため、本社会議室での開催となりましたが、今年は桜の下で花見をすることができました。新入職員に関するクイズや縄跳び、シャボン玉など、楽しく職場を越えた交流をすることができました。その様子を写真で紹介いたします。



原発事故から15年、核廃絶を目指して

ファルマ弘前薬局 三上 心乃音

3月15日(日)に開催された、さようなら原発核燃3・11青森集會に参加しました。集會では主に、原子力と核政策についての特別講演、青森県東方沖地震と地震が起きるメカニズムについての報告、全国各地からの核廃絶に向けての決意を込めた報告があり、最後に会場から県庁までのデモ行進を行いました。特別講演ではピースデポ代表の鈴木達治郎さんが、核抑止という考え方がいかに危険で、早急に脱却すべき問題であるかを様々な資料や記事を用いて分かりやすく説明してくださいました。私が特に印象的だったのが「文明と戦争とは結局両立し得ない。文明が速やかに戦争を全滅しなければ、戦争がまず文明を全滅することになる」という憲法制定

議會での幣原首相の発言です。憲法9条を制定するにあたって、武力と戦争の放棄を実現しなければいけないという強い想いがあったのだろうと感じました。

憲法9条について今もなお議論されているなか、その存在を守るべく核政策の転換を求めている民医連の職員として、この考えを忘れずに平和活動を続けていきたいです。

雨の中デモを行いました



雨の中デモを行いました

3月7日(土)に弘前文化センターにて、さようなら原発・核燃「3・11」弘前集会在開催されました。講演の講師はヒロシマ・ナガサキ・ビキニ・フクシマ伝言館事務局長の丹治杉江さんで、原発事故から15年、「終わらない事故始末と裏切られた被災者の実態」についてお話されました。福島県の学校では「汚染水」「汚染土」ではなく「処理水」「汚染土」と呼ばせている教育が

福島の実態

藤代薬局

主任補佐

菅原

実牙樹

あること、福島に人が戻ってきていると言いつつも、いくつかの地域はほとんどが作業員や移住者であることなど、現在の福島の実態を知りました。



リレートークの様子(発表者左から菅原主任補佐、田中薬剤師、古川さん)

会を通して、原発で苦しんでいる人が今もいること、二度と同じ過ちを犯さない為に原発回帰の流れには反対していくべきだと改めて感じました。

わたしの好きなアニメー 葬送のフリーレン

本部 課長 水木 孝之

この作品は、魔王討伐後の世界を描く異色のファンタジーです。主人公は、千年以上を生きるエルフの魔法使いフリーレン。彼女はかつて勇者たちと共に旅をし、魔王を倒しました。しかし長命種である彼女にとって、人間と過ごした十年はあまりにも短く、仲間との別れを経て初めて、「自分は彼らを本当には理解していなかった」と後悔します。そして、人を知るための新たな旅に出る—それが物語の始まりです。

本作は派手な戦闘や冒険だけではなく、人との関係性や時間の重みを丁寧に描いている点が高く評価され、国内外で大きな支持を集めています。特に印象的なのは、「もっと話しておけばよかった」「もっと相手を知ろうとすればよかった」という感情です。これは年齢を重ね、人との出会いや別れを経験した大人ほど強く刺さるテーマではないでしょうか。

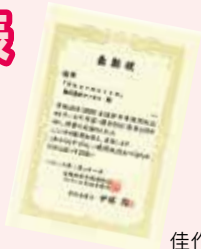
だから私は、この作品は決して“子ども向けアニメ”ではなく、むしろ大人こそ見るべき作品だと感じています。忙しい毎日の中で、今そばにいる人との時間を大切にしたい—そう思わせてくれる作品です。



(公式WEBサイトより引用)

機関紙誌コンクール結果発表

「2026 全国新年号機関紙誌コンクール」に Pharmaizm 新年号を応募し、佳作を受賞しました。審査員から「全面通して素敵な写真があり華やかなニュース」と講評をいただきました。



佳作受賞!

写真紹介

3/13 津軽みらい農協黒石支部へ出前講座

津軽みらい農協黒石支店主催の出前講座が同支店にて開催され、黒石薬局の大川薬局長が「健康食品の選び方、お薬の飲み方」をテーマに話しました。講座では、サプリメントの利用実態や種類、保健機能食品制度の違い、整腸や血糖値対策などの効果例を紹介するとともに、薬との飲み合わせの注意点について解説しました。



サプリメントについて話す大川薬局長

3/29 津軽保健浪岡支部ときめきフェスタ

つがる温泉で津軽保健生協浪岡支部主催の出前講座が開催され、浪岡ファミリー薬局の高橋薬局長が「健康サポート薬局・地域連携薬局・薬局の賢い使い方」について話しました。参加者は50名で漢方薬の種類や薬局の待ち時間を短くする取り組みについてなど様々な質問に答えました。



顔なじみの方々が参加してくださいました

4/15 津軽保健岩木支部へ出前講座

生協会館で津軽保健生協いわき支部主催の出前講座が開催されました。講師の高松相談役は「OTC類似薬の負担はどう変わる?」をテーマに話し、7名の参加者に自民・公明・維新による医療費削減の政策や高額療養費制度改悪についてなど詳しく説明しました。



詳しく解説する高松相談役

4/23 津軽保健和徳支部へ出前講座

生協会館で津軽保健生協和徳支部主催の出前講座が開催され、ファルマ弘前薬局の村上主任補佐が「薬の飲み方」について講義し、ファルマ弘前薬局の中西さんが日常的にできる全身ストレッチ、反応運動などの健康体操を行いました。参加者は11名で、質問も多くとても有意義な時間となりました。



講師の村上主任補佐と下山薬剤師(右から)

東北医科薬科大合同就職説明会

3月3日(火)東北医科薬科大学小松島キャンパスで東北医科薬科大学令和7年度合同就職説明会が開催され、ファルマ弘前薬局の外崎薬剤師と本部の工藤次長が参加しました。ファルマのブースには2名の学生が訪問してくださり、外崎薬剤師がファルマの魅力丁寧に伝えました。



学生へ丁寧に話す外崎薬剤師(奥)

青森大学就職セミナー

3月28日(土)青森市東奥日報新町ビルNew's 3Fで青森大学就職セミナーが開催されました。ファルマ ーツ谷薬局の西沢薬局長とファルマ弘前薬局の佐藤薬局長補佐、田中薬剤師が参加し、訪問して下さった7名へ薬剤師の基本的な業務の流れや1日の様子などを動画やスライドを使い説明しました。



多くの学生が訪問してくれました

駅前りんご広場集会和パレード

3月28日(土)と4月26日(日)に弘前駅前りんご広場で憲法9条守れ、戦争法廃止!集会和パレードが開催されました。3月はファルマから6名、4月はファルマから5名が参加し、戦争反対を強く訴えました。写真はパレード終了後にファルマの参加者で撮ったものです。



3月28日(土)の様子